



開かれた議会を目指して  
 ~令和4年度  
 議会報告会・意見交換会~  
 【報告書】



1	議会報告会・意見交換会の概要	.....	P 1
2	会場別報告書	.....	P 2 ~ P 8
3	参加者アンケートの集計結果	.....	P 9 ~ P 12

## 太田市議会

### 議会報告会・意見交換会実行委員会

## 1 議会報告会・意見交換会の概要

- (1) 主 催 太田市議会
- (2) 日 時 令和5年1月14日(土)  
午後2時00分～午後3時30分
- (3) 会場・テーマ ① 太田行政センター 「災害対策について」  
② 九合行政センター 「子育てについて」  
③ 鳥之郷行政センター 「ごみ対策について」
- (4) 参加者数 ① 太田行政センター 13名  
② 九合行政センター 12名  
③ 鳥之郷行政センター 14名
- (5) 次 第 1 開 会  
2 あいさつ  
3 テーブルごとに意見交換  
・自己紹介  
・サブテーマ選び  
・意見交換  
・まとめ、発表  
4 閉 会

※ 今年度は意見交換会を中心とした内容としたため、書面の配付をもって議会報告に代えさせていただきました。意見交換会は、議員と市民が少人数のグループに分かれて自由に意見を出し合う、グループディスカッション方式で実施しました。

## 2 会場別報告書

### 【太田行政センター】

■テーマ：災害対策について

■サブテーマ：①避難所について ・ ②情報について ・ ③災害弱者について

■開会あいさつ：星野 一広 監査委員

■参加議員

【司会進行】 大川 陽一

【Aテーブル】 中村 和正、◎山田 隆史、 木村 康夫

【Bテーブル】 長ただすけ、◎高田 靖、 大川 陽一

【Cテーブル】◎町田 正行、 星野 一広、 尾内 謙一

※◎はテーブルリーダー

■テーブルごとの主な意見【テーブルリーダーの報告より】

【Aテーブル】

- ・民生委員が持っている要支援者名簿等について、区長や地域の方々が共有できていないため、いざ災害が発生した場合、手助けができない現状である。
- ・区長その他地域の役員が高齢化しているため、救助等に課題がある。
- ・地域ごとの防災訓練が毎年必要ではないか。
- ・地域ごとに設置されている避難所は、高齢者や車などの移動手段がない方のために、身近な集会所を活用し、一時避難に必要な備品を常に備えた方がいいのではないかと提案があった。

【Bテーブル】

①避難所について

《令和元年東日本台風関連》

- ・翌朝には避難所が閉鎖されていると消防職員から聞いた。
- ・行政による説明がない。
- ・市職員から食事の提供があったが、上司等からの指示ではないとのこと。
- ・報告書は作成されているが、被害があった地域への説明はない。

- ・ 沢野行政センターが避難所になっていたが、危険とのことで閉鎖することになり、武道館等への移動を指示された。
- ・ 第2・第3避難所の鍵を管理していたが、避難所開設等の指示(連絡)がなく、電話にて問い合わせをしたが、担当課への直通電話番号がわからなかったため、市役所代表番号に電話したところ、守衛所に転送されるだけだった。
- ・ 避難所については、どんな状況でも安全・安心を確保できる場所を指定すべき。
- ・ 台風19号での被災を踏まえた災害対策の再検討がされていないと思う。
- ・ 行政の災害時の訓練はされているのか？有事の際に適切な対応が可能な状況になっているのか。
- ・ 民間企業との連携について(避難所としての場所の確保)

## ②情報について

- ・ 有事の際に連絡が取れる担当者との連携が必須である。
- ・ 日頃から相互の情報交換が必要であり、何かあってからでは遅い。

## ③災害弱者について

### 《要支援者リストの現状について》

- ・ リストは提供されているが、本当に支援が必要な方なのか？
- ・ リスト作成時のチェックリストが必要である。
- ・ 要支援者への対応を丸投げされているのではないか。

## 【Cテーブル】

### ①避難所について

- ・ 災害時の避難所についての周知が弱いのではないか。
- ・ 避難所については市職員が対応としているが、人員的に少ないのではないか。区長会や民生委員などの地域役員も入れた対応が必須ではないか。そういった体制で平時の避難訓練を進めてもらいたい。また、学校避難所での教員との連携などについて、不安な体制である。
- ・ 防災マップが配付されているが、自力で避難できない人をどうするのか。
- ・ 感染対策も重要ではないか。また、避難所備品の点検も望む。

### ②情報発信及び災害対策について

- ・ 民生委員が持つ要支援者名簿を区長などの地域の人と共有できないか。
- ・ 個人情報の保護ということで共有できないとのことだが、災害時において人命を考えると共有すべきではないか。
- ・ 災害ラジオの有効利用が必要ではないか。
- ・ 水位計情報が有効と考えるが、八瀬川や石田川、大川に市においても設置の推進が重要。

## 【九合行政センター】

■テーマ：子育てについて

■サブテーマ：①学童保育について ・ ②保育・教育について・  
③子どもの安全について

■開会あいさつ：高藤 幸偉 副議長

■参加議員

【 司会進行 】 白石 さと子

【Aテーブル】◎木村 浩明、 渡辺謙一郎

【Bテーブル】 松川 翼、 高藤 幸偉、◎矢部 伸幸

【Cテーブル】 神谷 大輔、◎前田 純也、 水野 正己

※◎はテーブルリーダー

■テーブルごとの主な意見【テーブルリーダーの報告より】

【Aテーブル】

- ・保育士の処遇改善をさらに充実させることが必要である。
- ・子育てには、地域の支援が重要である。
- ・学童保育の支援員について、研修会等への参加率を向上させることが重要である。
- ・学童保育は児童を預かるだけではない。親も一緒になって子育てをする場所である。
- ・学童保育の支援員の待遇を改善してもらいたい。
- ・学童保育の職員さんは辞めてしまう人が多い。社会保険に加入している学童クラブはどのくらいあるのか。
- ・子どもの見守り活動を行っているが心配な点がある。PTAのパトロール、防犯灯の整備・増設、防犯委員の活動の充実が大切である。
- ・学校給食について、食材の残留農薬の確認が必要ではないか。
- ・保育園や幼稚園で働く職員のストレスが心配である。

## 【Bテーブル】

- ・ 保育園の給食が充実している。
- ・ 幼稚園のマーチングの指導が以前は厳しかった。
- ・ 縦割保育の時間があり面倒を見てくれる。
- ・ 今の学童保育は申し分ない。連絡体制がしっかりしており、放課後すぐに下校できる。
- ・ 通学路に暗いところがある。田んぼの周辺には街灯がない。
- ・ 自転車は歩道を走らせるなど、安全対策を強化してほしい。
- ・ 通学路の安全点検では、子どもたち同士の話し合いで危険個所を把握する機会をつくるのが大事。
- ・ 送迎バスにおける子どもの置き去り防止のための体制整備が重要である。

## 【Cテーブル】

- ・ 子育て支援は、子どもが主役で考えることが大切である。
- ・ 地域、家庭、学校が一体となった子育て支援の体制づくりが重要である。
- ・ アパートに住んでいる方など、地域との関わりが希薄になるケースがある。子どもの安全という面からも、地域との連絡網の整備が必要である。
- ・ 学童保育から習い事に行く子もいる。学校から学童クラブまでの移動以外の場面で、児童の安全をどのように見守っていくのかが課題となっている。大人の目の届かない部分が多い。
- ・ 毎朝登校の見守りをしているが、学校や地域の支援が充実したことで、子どもの安全意識が薄れてきたような気がする。見守ってくれる人がいるので、左右の安全確認をしない子もおり、安全意識の醸成が必要である。
- ・ 国が示す学童保育の適正規模は40人だが、定員を超過している学童もある。少子化でも働く親は増えており、プラッツで補完するだけでなく、学童保育を増やすことも必要と考える。
- ・ 学校カウンセラーの予約を取ろうとしても、時間が合わず予約が取れない保護者がいる。県のカウンセラーを増やせば、親と子どもが相談しやすくなる。

## 【鳥之郷行政センター】

■テーマ：ごみ対策について

■サブテーマ：①ごみの減量について ・ ②ごみの分別について・

③ごみステーションについて

■開会あいさつ：岩崎 喜久雄 議長

■参加議員

【 司会進行 】 高木きよし

【Aテーブル】◎八長 孝之、 大川 敬道、 斎藤 光男

【Bテーブル】 松浦 武志、 板橋 明、◎久保田 俊

【Cテーブル】◎岩崎喜久雄、 高橋 えみ、 石井ひろみつ

※◎はテーブルリーダー

■テーブルごとの主な意見【テーブルリーダーの報告より】

【Aテーブル】

○ごみステーションへの不法投棄について

- ・業者が捨てていっている様子がある。警察や行政へ相談をしても「現行犯ではない」「大変ですね」と労いの言葉だけもらい、解決に至っていない。立札も全く効果なし。片づけないとひどい状況で、子供たちの通学路になっている以上、片づけないわけにもいかない。何とか解決したいが…。カメラを設置してほしい。
- ・ステーションの隣に自宅があるのだが、臭い、特に夏場はひどい。また、カラスがごみを荒らしてしまう。ゴミ袋の中を見えない様に新聞紙等で包んで捨てたら効果があった。近くの方々には何度も説明をして協力してもらっているが、色々な方がもっと意識を持ってほしい。
- ・1%まちづくり事業を活用して綺麗にしたところもある。活用してみては？

○ごみの減量について

- ・今回、ゴミ袋の値段が上がったが、効果があるのではないか。
- ・ゴミの中でも紙が多いと思う。紙を分別し、もっとリサイクルできるのでは

- ないか。
- ・一生懸命やっている人には何のメリットもない。何も気にしない人たちは多かるうが気にせずに捨てていく。一生懸命にやっている人に少しでもメリットがあれば…。
- ごみのポイント制度を導入してみてもどうか？
  - 清掃センターを見学するとかなり意識が変わる。ゴミの多さや働いてくれている人たちの大変さが分かる。見学会を行ってみてもどうか？

## 【Bテーブル】

- ごみの減量について
  - ・何を減らせばよいのか？雑紙、紙ごみを分別すれば良いのではないか。新聞以外は段ボールに入れて出すなどの工夫はどうか。
  - ・市民への情報が広がらない。太田市全体で浸透していない。周知をどう行おうかが課題。議員や区長会に話をする。
  - ・市民が自分事と思ってもらえるアプローチ。どれだけ先を見据えるか。5～10年スパンで、今やるべきことを行わないといけない
  - ・県や市が何かを動かさないといけない。太田市が定めた計画も動いていない。
  - ・協議会も現在10名程度。各地区から1名ずつ出すのはどうか？
  - ・ご褒美的なものがあっても良いのでは？
  - ・子どもに教えることで、親の意識が変わるのではないか？学校でも新聞やダンボールを集めているところもある。学校にごみを捨てる所を設置するのも良いのではないか？
- ごみステーションについて
  - ・不法投棄は証拠があれば警察でも動いてくれる。防犯カメラがあれば良いが。他県の袋で捨てられていたこともあった。
  - ・木崎地区では、ボランティアが安否確認も兼ねて高齢者の自宅を回っている。
  - ・ゴミ袋の値上げ分を何に使うかをアピールしてはどうか？
  - ・削減した予算を他のごみ事業に活用するのはどうか？

## 【Cテーブル】

- ごみの減量について
  - ・市内の小学校3カ所で、学校敷地内のコンポスターに給食の残渣を入れ、たい肥にし、校内でサツマイモや花を育てる取り組みを行っている。現状は、生ごみのほとんどが焼却処分されている。生ごみをビニールに入れて捨てればご



みとなり、減量にならない。生ごみをたい肥にすれば、資源ごみとなる。  
焼却ゴミを減らすためにも、たい肥化の取り組みを広げてほしい。

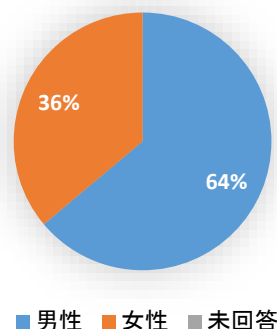
- 地域で衛生の責任者とともに、ごみにかかわるボランティアを行っている。市は高齢者のごみ出しについて、一定の条件を付けて個別収集を実施しているが、今後自分自身も年を重ねて、ごみ出しができなくなった時のことを考えると、高齢者のごみ出しについては条件を付けずに個別収集をしてほしい。
- 新潟市では、高齢者や障がい者などのごみ出しが困難な世帯に対してごみ出し支援を行う団体に対し、市から支援金を交付する事業を実施している。(燃えるごみ：利用者1名への支援で、1日につき150円が交付・粗大ごみ：利用者1名への支援で、1日につき600円が交付)これを仕事に就けない若者の就業を応援する事業と結び付けたら良いのではないか。
- 行政区ごとにごみがどれくらい出ているのか、一度調査を行い、減量できた行政区にはインセンティブを支払うようにすると良いのではないか。
- ごみを減量しようと思ひ、徹底的に分別したところ、今までの3分の1になった。行政区ごとに、生ごみについては、いつでも出せるようにコンポスターやたい肥枠を設置し、たい肥化を推進することも良いのではないか。そのたい肥を使って花や作物を作り、(こやしばの会の活動を聞いて…)ゴミ出しをツールにして地域のコミュニティの活性化が図れると良いと思う。
- 県は5つのゼロ宣言をしている。中でも食品ロスゼロを推進するための出前講座等を活発に行っていていき、意識を醸成していくことが必要。
- 目に見える形で、どれくらいの量のゴミを削減することが必要なのかアピールすることも必要なのでは。
- ゴみの処理に1世帯いくらかかっているのかを示していくことも必要。
- 清掃事業課と食品ロスサポーターとの連携をしながら、食品ロスをなくす取り組みが何かできないかと考える。
- 最終的には、ごみの袋に名前を書いて出せば、ルールを逸脱したゴミが減るのではないか。
- キャラクター「こやしばくん」を使って宣伝してほしい。
- こやしばの会、そして地域でゴミにかかわるボランティアについてもだんだんと疲弊してきている。ボランティアのやる気だけに頼っていては、継続が難しい。こどもプラッツのように、今後はインセンティブが必要である。そうしたボランティアの人たちで、学校の樹木の剪定や雑草の対応もできると思う。
- 1%まちづくり事業では、営利活動ができないので、たい肥を販売することができないが、新聞やアルミ缶のように、たい肥も資源ごみとして認めてもらいたい。生ごみを減量し、たい肥を作ることで幾らかになれば、生ごみの減少につながる。

### 3 参加者アンケートの集計結果

#### 1 性別

男性	23
女性	13
未回答	
合計	36

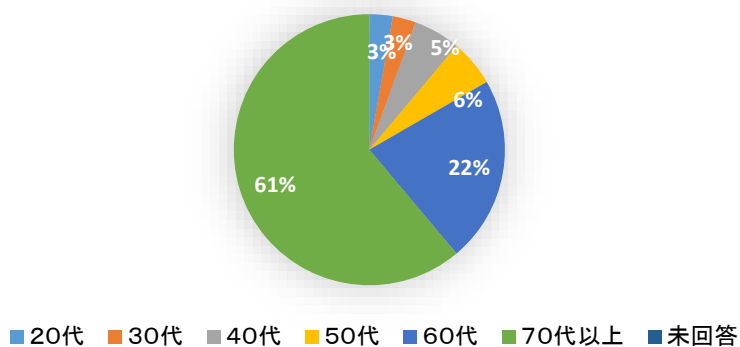
男女別グラフ



#### 2 年齢

20代	1
30代	1
40代	2
50代	2
60代	8
70代以上	22
未回答	
合計	36

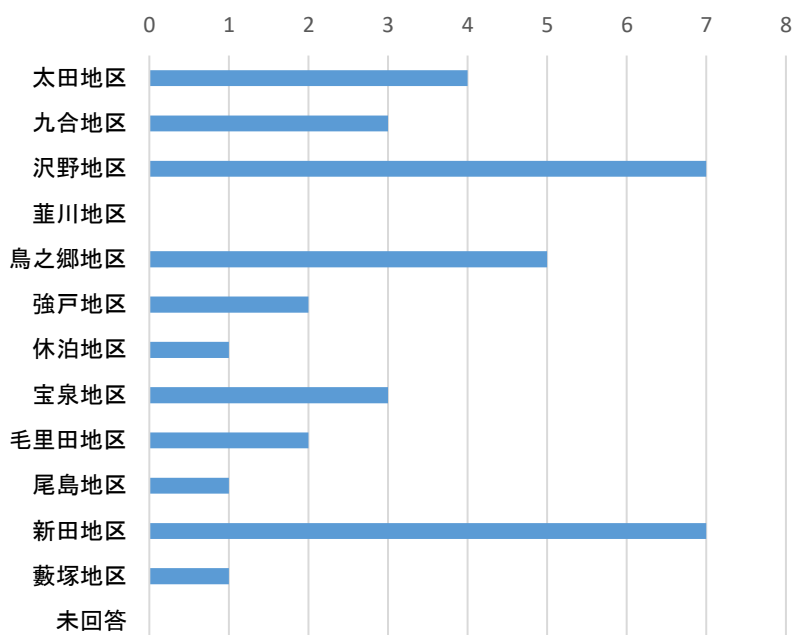
年齢別グラフ



#### 3 お住いの地区

太田地区	4
九合地区	3
沢野地区	7
葦川地区	0
鳥之郷地区	5
強戸地区	2
休泊地区	1
宝泉地区	3
毛里田地区	2
尾島地区	1
新田地区	7
藪塚地区	1
未回答	

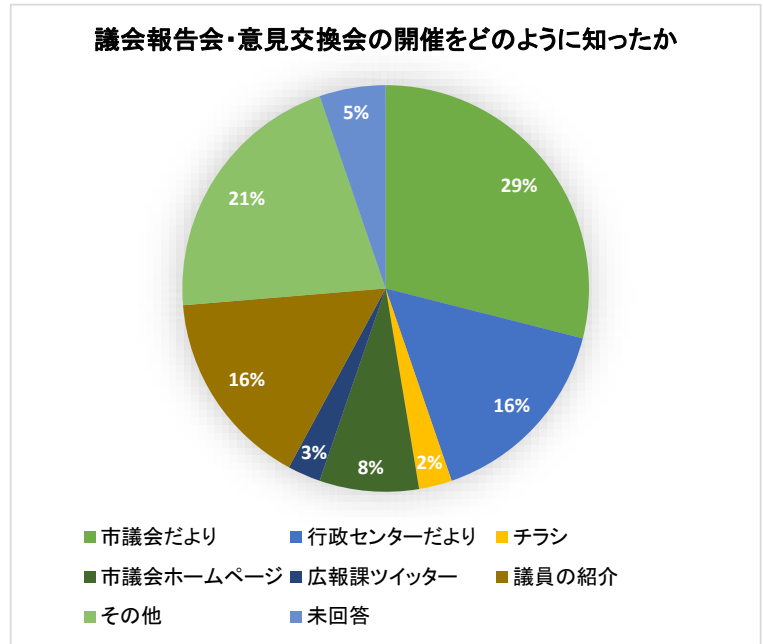
お住いの地区



市内総数 36

#### 4 議会報告会・意見交換会の開催をどのように知ったか。(複数回答あり)

ア	市議会だより	11
イ	行政センターだより	6
ウ	チラシ	1
エ	市議会ホームページ	3
オ	広報課ツイッター	1
カ	議員の紹介	6
オ	その他	8
	未回答	2
	合計	38

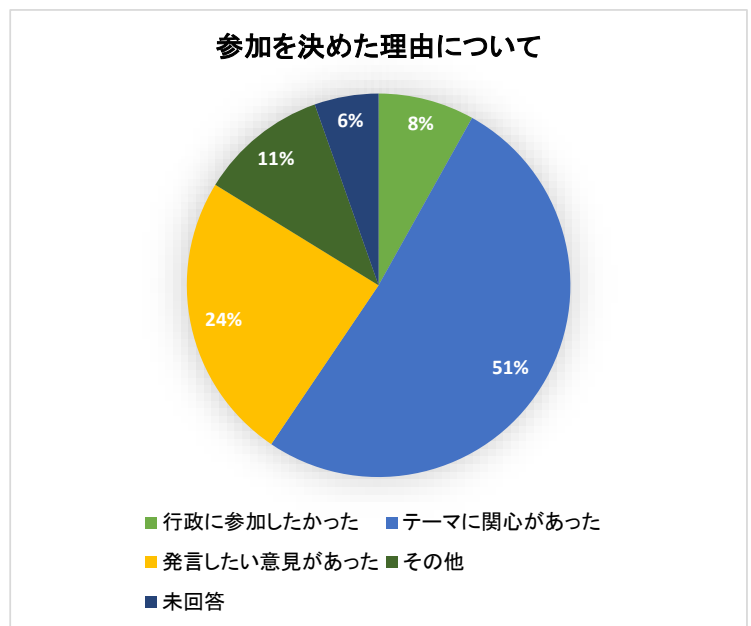


##### ■その他の記載内容

- 清掃事業課の方からの紹介
- 区長会
- 昨年も応募したので
- 友人・知り合いに誘われて(5名)

#### 5 参加を決めた理由について(複数回答あり)

ア	行政に参加したかった	3
イ	テーマに関心があった	19
ウ	発言したい意見があった	9
エ	その他	4
	未回答	2
	合計	37

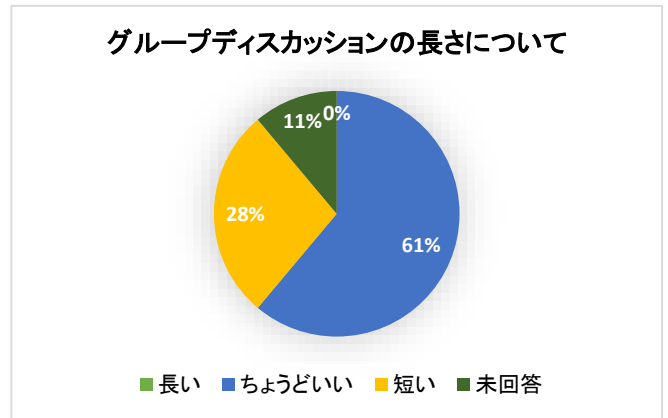


##### ■その他の記載内容

- どのような形で意見交換会をしているのか知りたかった。
- ごみについて活動しているので。
- 市議会議員の皆さんに学童保育の現状を少しでも知って頂きたかった。
- 2才と4才の子どもがいるため。

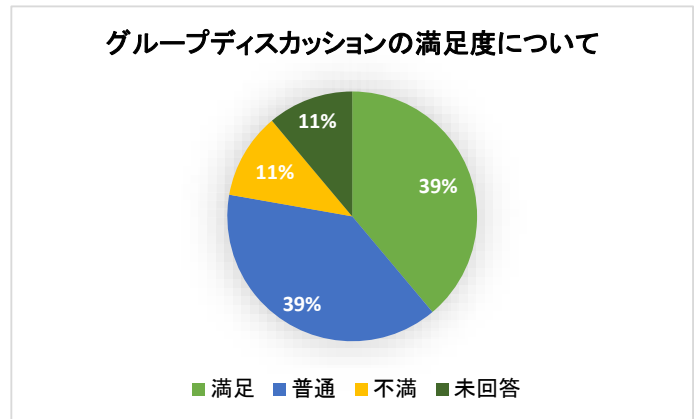
## 6 グループディスカッションの長さについて

ア	長い	0
イ	ちょうどいい	22
ウ	短い	10
	未回答	4
	合計	36



## 7 グループディスカッションの満足度について

ア	満足	14
イ	普通	14
ウ	不満	4
	未回答	4
	合計	36



## 8 「満足」または「不満」と回答した理由

- 人数が少ない。
- テーマが広すぎて時間が足りなかった。
- 議員さんを身近に感じ、熱心さも感じた。市内の「学童保育所」と「プラッツ」の現場を見ていただきたい。
- 隣のテーブルの声が入ってきて、理解しづらいというか聞こえない。検討する必要あり。
- 会議内容をテープにとっても良いのでは。
- 有意義な話がありました。
- 市役所に働きかけ、提案しているがフィードバックされていない。
- 時間が短かった。ごみ問題がどの地区でも苦勞している。太田市のきれいなまちづくりを実施して欲しい。プロキングの奨励、ゼロミッションの実施
- まとめられていない。
- 他の地区の人達の意見を聞き、参考になった。
- 満足でした。
- 事前に必要な資料を用意しておく必要があった。
- 子育ての現場の方の話を聞くことができました。
- 沢山の情報を聞くことができました。子育ての重要性を改めて感じました。
- 市議会議員の方を身近に感じることができました。ありがとうございました。
- いろんな意見が聞けて良かったです。またこのような機会に参加したいと思います。
- 若いママさんの参加を望みます。若いママさんのサークルへ声掛けする。
- 皆さんの意見を聞き、今まで子育てに関わってきたことが今後にも生かせると思いました。
- 皆さんの意見も色々出て、有意義な会でした。
- 市の状況がよくわかった。(役に立たない)
- 様々な立場の方の話をうかがえ、自分の意見も充分言えて良かったです。
- 活発な意見が交わされ、本当に勉強になりました。
- 来年から長男が小学生なので、安全性について非常に勉強になりました。

## 9 今後グループディスカッションで取り上げたいテーマについて

- 生ごみの削減・ごみの減量化と地域コミュニティの推進とのリンク  
または、若者の定住化支援と高齢者支援の取り組みと連動した活動
- ごみについて
- 高齢者のこと
- 学童保育をテーマとして設けてもらっているので、さらに深く話していただきたい。  
(指導員の待遇や人員不足等)
- コロナ対応について
- 外国人共生問題
- ごみ問題を継続して欲しい。
- 市民の安全について
- 住みよいまちづくり
- ごみは毎年やってほしいです。

## 10 知りたい情報や市議会に期待することについて

- 市としての今後の幼稚園バスの安全装置の方向性
- 情報をたくさん出してください。
- 議員さんとの交流ができ嬉しかったです。
- 参加された市議会の皆様のテーマに対する努力に感心しました。
- 意見交換会を増やして欲しい。
- 今日の意見交換会と同様の会を毎月実施できないか。
- 安心・安全の具体的な対策は？
- 市民からの声を聞き、どんな声も取り上げて欲しい。

## 【その他】市議会に対するご意見(自由記載欄)

- 意見交換会のスタンスが非常に有意義に感じました。次回も実施していただきたい。
- 皆さんで良い太田市づくりをお願いします。
- これからもこのような企画を定期的で開催して欲しい。
- 活動を期待しております。よろしくお願いします。「鳥山上町HP」をPRして欲しい。
- 今後もこういう機会があればと思います。

## 【アンケート回収率】

参加者数	39
回収数	36
回収率	92.3%